

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成20年3月27日(2008.3.27)

【公開番号】特開2006-294196(P2006-294196A)

【公開日】平成18年10月26日(2006.10.26)

【年通号数】公開・登録公報2006-042

【出願番号】特願2005-117528(P2005-117528)

【国際特許分類】

G 1 1 B 7/24 (2006.01)

G 1 1 B 23/40 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 7/24 5 6 1 B

G 1 1 B 7/24 5 2 2 R

G 1 1 B 7/24 5 4 1 D

G 1 1 B 7/24 5 6 1 P

G 1 1 B 7/24 5 7 1 A

G 1 1 B 23/40 B

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月8日(2008.2.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被印刷層を有するダミー基板と、

前記ダミー基板と接着層を介して貼り合わせた記録再生用の基板と、を有し、

前記記録再生用の基板は、

有機色素を含有する記録層及び反射層が積層されるトラッキング用のプリグループが形成された記録エリアと、

前記記録エリアの内周側に設けられ反射層が積層される非記録再生用のダミーグループが形成されたクランピングエリアと、を備え、

前記クランピングエリアの前記ダミーグループの溝形状は、

前記ダミーグループ上に反射層が積層された後の当該ダミーグループの溝深さと、前記記録エリアのプリグループ上に記録層及び反射層が積層された後の当該プリグループの溝深さと、が略等しくなるように、当該ダミーグループの溝深さが当該プリグループの溝深さより浅く形成される

ことを特徴とする光情報記録媒体。

【請求項2】

前記ダミー基板の前記被印刷層は、当該被印刷層における前記記録再生用の基板の前記クランピングエリアに対応する部分に印刷された画像のコントラストと、当該記録再生用の基板の前記記録エリアに対応する部分に印刷された画像のコントラストとの差が減少することを特徴とする請求項1に記載の光情報記録媒体。

【請求項3】

記録層を有する記録再生用基板と、

前記記録再生用基板と貼り合わせたダミー基板と、を備え、

前記記録再生用基板は、

前記記録再生用基板表面に設けた記録エリアに形成され前記記録層が積層されるトラッキング用のプリグループと、

前記記録エリアの内周側に設けたクランピングエリアに形成され前記プリグループの溝深さより浅く形成されたダミーグループと、を有し、

前記ダミー基板は、

前記ダミー基板のレーベル面において、前記記録再生用基板の前記クランピングエリア及び前記記録エリアに対応する部分が覆われるように設けた被印刷層を有することを特徴とする光情報記録媒体。

【請求項 4】

前記記録再生用基板は、前記プリグループ上に有機色素を含有する記録層及び反射層が順に積層された前記記録エリアの反射光量と、前記ダミーグループ上に反射層のみが積層された前記クランピングエリアの反射光量とが略等しいことを特徴とする請求項 3 に記載の光情報記録媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

次に、本発明によれば、被印刷層を有するダミー基板と記録再生用の基板とを接着層を介して貼り合わせた光情報記録媒体であって、基板は、トラッキング用のプリグループが形成された記録エリアと、非記録再生用のダミーグループが形成されたクランピングエリアと、を備え、ダミーグループの溝形状は、ダミーグループ上に反射層が形成された後の溝形状とプリグループ上に有機色素を含有する記録層及び反射層が形成された後の溝形状とが略等しくなるように、プリグループの溝深さより浅く形成されることを特徴とする光情報記録媒体が提供される。

ここで、本発明が適用される光情報記録媒体においては、ダミー基板上に形成された被印刷層のクランピングエリアに対応する部分に印刷された画像のコントラストと、記録エリアに対応する部分に印刷された画像のコントラストとの差が減少することに特徴を有している。